

あすか かなちえ 元号

発行：神奈川県地域子育て支援拠点かなちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階
TEL/FAX 045-441-3901 URL: <http://kana-chie.com>

第60号
2020年11月発行

地域のつながりは宝

まちの公園の木々が赤や黄色に色付きはじめました。カサコソと枯葉を踏んでの散歩もこの時期の楽しみの一つです。八百屋に並ぶミカンや柿の暖色も目に優しく、食欲をそそる秋です。

まだまだ新しい生活様式が続く中、今回の元号は、まちの様々な取り組みをご紹介します。ソーシャルディスタンスを守ってのこうした時間の数々も、長い間に培った、地域とのつながりという宝があるからこそ、温かみのある時間になったのでしょうか。できることから少しずつ...かめの歩みは一步一步ながらどこか力強さを感じます。



「人と関わる現場」を支える人たちと学びあう

初めてのオンライン！

ネットワーク交流会

「福祉分野にもプロジェクトマネジメントを」

日本大学文理学部准教授 田中 謙氏



様々な立場、施設、地域の人々が、共に学び、交流する時間。田中先生を迎えての開催は今年4回目となり、会場かなちえと

自宅からの参加者をオンラインで繋いで行ないました。

施設やグループが持つ「アイデアや強み」は各々の「財産」です。その「財産」を積極的に外に出し、他の施設・グループの「財産」と掛け合わせることで「新しい価値」を生み出す、今必要とされる

「オープンイノベーション」という理論でした。

これからの時代、ますます大切になる“学び”になりました。



参加者の中には、「今回はオンラインなので参加できました」という人もいました。もしスマホがある方は、子育ての時代の知恵を借りてオンライン体験♪など、交流のきっかけになるかも〜、と感じました。



オンライン参加の皆さん



会場の様子

「コロナ禍の中でも、大事な取り組みは、途絶えないように…できることから始めましょう！」という、連合町内会自治会からのメッセージをいただき、無理なく、工夫をしながら、いつもとひと味ちがうかめっ子の取り組みを見学してきました。



講師は…
NLP トレーナー・石井裕美子さん。
フェイスシールドを着用していたので、顔の表情が分かり、話が伝わりやすかった♡

松本町地区では、昨年度開所した「こども家庭支援センターいずみ」主催の子育て講演会を、開催しました。

テーマは…

「やる気が上がるスイッチの探し方
～子どもがワクワクするために必要なこと～」
興味深いテーマに、大雨↑の予報の日にも関わらず、たくさんの親子が参加しました。

すくすくかめっ子
松本町

“コミュニケーション心理学(NLP)”に基づいた、子どものやる気が上がるパターンの紹介がありました。

「印象に残ったこと、興味深いと感じた内容」を参加者からあげてもらいました。

- イヤイヤ期、反抗期も成長の1つと捉えること。
- 親子関係の修復には、親ばかりが変化せずとも、子どもから変化を促すことも可能だということが分かり、目からウロコだった。
- 相手の価値観に合わせた言葉選びの重要性を具体的に理解できた。
- 「将来…」というのは、子どもには伝わらない。
- 子どもにも方向性があることが面白かった。
- 様々なパターン、考え方等、時々振り返ることが大切なことだと思った。

「今後に活かせることは？」

- 自分の価値観を子どもに押し付けないよう、話をよく聴く。
- いろいろなパターンで、声かけを試していきたい。
- 自分自身を知っていききたい。
- 子育て、夫婦の人間関係を築く上で活かしていきたい。
- 子育ては勿論、仕事にも応用できる。

…子どものパターンを知る上では、自分のパターン(クセ)を知り、客観視することも大事だと学びました。



絵本「北風と太陽」のお話もありました。

北風と太陽が、旅人のコートをどちらが脱がすか勝負して、吹きつける北風より、暖かく照らし続ける太陽で、旅人はコートを脱ぎ、太陽が勝った！というお話は有名ですね。

このお話は、「厳罰より、寛容的に対応する方が効果的」という教えとして例えられています。

でも、実はこのお話には、もう1つ「帽子」の勝負があって、その時は、照り付ける太陽で、旅人は帽子を脱がず、太陽は負けているのです。

つまり

☀️勝負の組み合わせ(パターン)は無限にあって、「物事や人物、環境、状況に合わせて、臨機応変に対応できる柔軟さが大切だ」ということも伝えていきます。

“ソーシャルディスタンス”
で会場設営。
途中で換気する時間を
5分間取りました。



親子で一緒に参加できるように
部屋の一角に、
保育スペースを作りました。



会場の都合で、「再開がなかなかできない！」という声も寄せられます。そんな中、元々会場を公園にしているかめっ子さんが再開したり、他に、かめっ子会場に隣接する公園を利用して開催しているかめっ子さんの話を聞くようになりました。外だと「換気」は心配ないですね～

コットンハーバー地区は、隣接する公園で再開。せっかくの準備も、雨で休止が続いていましたが、毎年恒例のミニミニ運動会は、念願叶って秋晴れに☀️たくさんの親子が参加し、ほしのひろばや子育てグループの協力もあり…あちこちで再会のあいさつを交わしつつ、親子で思いっきり走り回り、開放感を感じる時間になりました。



外でも検温を実施。併せて、手指消毒や連絡先の聞き取りも行なっています。

コットンハーバー
すくすく子がめ隊



段ボールを使って、玉入れにリレー。紐を使って、公園内を親子で列車ごっこ♪いっぱい走り回ったね～♪



夏はシャボン玉に水遊び♪



“竹の水道”は町会長の手作り。



モミジバフウと葉っぱでお弁当のできあがり～♪

松見みはらし公園地区は、6月から再開。PRをしなくても、初回から参加者があり、皆、再開を待ち望んでいたことが分かりました。ブルーシートを敷いての「たまり場」だけでなく、プラスαの親子遊びも用意。夏は、シャボン玉に、水遊び。秋は絵具遊び。そして10月は、地域の居場所「てんこもりのわ」と共催で“秋のミニミニ祭り”を開催しました。

松見みはらし公園
すくすくかめっ子



てんこもりのわ&かめっ子で開催した秋祭り。子どもが遊ぶコーナーだけでなく、かなっばさんによる野菜販売や地域のボランティアさん作のマスクストラップなど手作り品の販売もあり、参加者親子に喜ばれました。



魚つりの魚も折り紙で手作り。至る所に、地域の皆さんの“手作り”が満載！

地域とともに続く「親子とのふれあい授業」



3つの学校で、命、子育て、自分は大切な存在、を知る家庭科の授業が行われました。

- 神奈川中学校「小さい子のいる暮らしと命のお話」(5クラス)
- 栗田谷中学校「中学生と親子のふれあい授業」(4クラス)
- ◆東高校にて、「みんなの子どもを、みんなで育てる」(7クラス)



これまで13年間にわたり、中学校・地域・かな一ちえが手をつなぎ、区内の中学校の家庭科の授業を手作りし、育んできました。

子育て中の親子にも参加してもらい、ふれあいを通じて、“感じ、気づく、学びの場”です。



今年度は、神奈川中学校は参加型ワークショップで、栗田谷中学校は感染症対策をしっかりとりながら親子とのふれあい体験を含めた授業を行いました。

「全ての命が奇跡の誕生であり、その命が連綿と継がれていること」「人と人の繋がり、育ち合い」そして「誰の心も体も大切な存在であること」など、みずみずしい心に様々なエッセンスが伝わりました。かめっ子で育った中学生にとっても、地域の方とふれあう貴重な時間になっています。



中学生の声

- ◎ 自分やみんなが生まれてきたことは7百兆分の1の奇跡だったってことを知った。驚いた。
- ◎ 最初は泣かないか不安だったけど、実際にふれあってみたらすごく楽しくて、もし自分も結婚して子供ができたなら、この体験を活かしたいと思いました。
- ◎ 小さい子は行動が予測できないけど、とても可愛かった。
- ◎ 私は子供があまり好きではなく、最初は触れ合いが怖かったけど、だんだん慣れていき仲良く遊ぶことができました。

参加保護者の声

- ◎ わが子が泣いてばかりで申し訳なかったですが、良い刺激になりました。
- ◎ 普段出会うことがない中学生と遊ぶ経験ができて楽しかったです。
- ◎ 中学生の本音が聴けたのが嬉しかったです。いつか我が子でも味わえるのかと思うと楽しみです。

今年度は、新たに市立東高校でも授業を行いました。かつて中学校の授業を共に作ってきた先生との縁で実現した時間です。

大人に近い高校生は、より自分事として真剣に受けとめる姿をみせてくれました。



「編集後記」
寒くなっても元気に子どもは遊びますね。その笑顔に思わずホッ♪ 空き牛乳パックに画用紙を貼って、仕上げに透明テープで全面を覆ってみたら、消毒シートで拭ける電車のおもちゃになりました。今、ひろばで人気です。

